

リハビリテーション・デイサービスへの通所を頑張る利用者様と利用者様を支える奥様
私たち「訪問看護ステーション野の花一同」応援しています



※許可を得て掲載しています

79歳の利用者様は、脳梗塞発症後、思うように体が動かない、食事が上手く飲み込めないなど、大変な時期を過ごされました。退院時には、「自分のことは自分でしたい、自分らしく自宅で過ごしたい」とそんな利用者様の思いを大切に、訪問看護とリハビリテーションを提供しています。

訪問リハビリテーションでは、退院後、自由に自宅で動けることを目標に杖を使ったり伝え歩きなど日々頑張ってきてくれました。甲斐あって最近では、週1回の訪問看護以外の日は、デイサービスに朝から夕方まで通えるようになるまで元気に過ごされています。デイサービスでもリハビリテーションを受けられており、有意義な毎日を送ってられます。8月のある日、利用者様から「所長に渡してほしい」と1枚の手作りカレンダーが届きました。カレンダーの色あい、塗り具合は一生懸命さが滲みでており、自筆サイン入りのプレゼントは、とても嬉しくて、胸が熱くなりました。ご利用者様はもちろんのこと、奥様、ご家族様の介護力に心を打たれます。心を込めて、ありがとうございます。

訪問看護ステーション野の花 所長：丸山節子